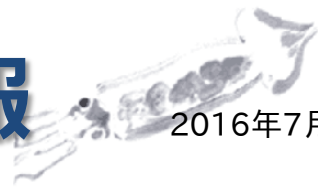


石川県漁海況情報



359号
2016年7月29日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

日本海スルメイカ長期予報（予報期間:8月～12月）

- 日本海全体では来遊量は前年・過去5年平均を下回る見込みです。
- 本県沿岸では活発な漁場形成はなく、沖合では来遊量は前年・過去5年平均を下回る見込みです。

大型クラゲ情報（期間:7月11日～19日）

- 対馬海峡西水道における分布水準は、比較的出現の多かった2007年とほぼ同程度でした。
- 石川県内では、加賀市の定置網において大型クラゲ1個体の入網がありました。

石川県主要港の水揚状況（期間:7月1日～15日）

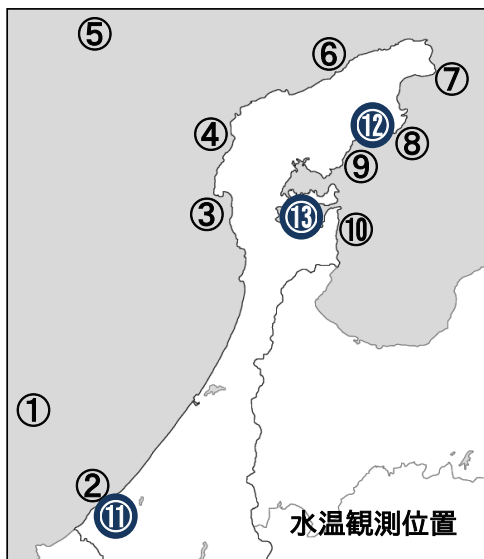
- まき網ではマアジ・サバ・ウルメイワシなどが好調でした。

石川県周辺海域の水温（期間:7月22日～26日）

■ **沿岸の海面水温** 7月26日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は24～26℃台で、過去5年平均との差は-0.5～+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は24.4～25.4℃で、7月中旬から約0.5℃上昇しました。前年同時期との差は+0.3～+1.8℃、過去3年平均との差は-0.7～+0.6℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は25.3～27.2℃で、前年同時期との差は+0.8～+1.9℃、過去3年平均との差は+0.0～+1.1℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 7/22～7/26	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	24.7	+1.3	+0.1
② 橋立沿岸	25.4	データなし	データなし
③ 富来沿岸	24.8	+0.6	-0.5
④ 門前沿岸	24.8	+0.5	-0.4
⑤ 猿山岬沖	24.8	データなし	-0.4
⑥ 曾々木沿岸	24.4	+0.3	-0.7
⑦ 小泊沿岸	24.9	+1.6	+0.4
⑧ 小浦沿岸	25.0	+1.8	+0.6
⑨ 鶴川沿岸	24.7	+1.4	+0.3
⑩ 岸端沿岸	24.9	データなし	データなし

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 7/22～7/26	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	26.2	+0.8	+0.0
⑫ 宇出津港	25.3	+1.9	+0.8
⑬ 石崎港	27.2	+1.5	+1.1

日本海スルメイカ長期予報（予報期間:8月～12月）

■ **来遊状況** スルメイカ漁場一斉調査が6月中旬から7月上旬に行われました。石川県の調査船白山丸の他、北海道から鳥取県の7道県と日本海区水産研究所の調査船が合計48定点でイカ釣り操業を行い、スルメイカの分布状況や魚体サイズ(外套長)を調べました。全調査点の釣機1台1時間当たりの釣獲尾数(CPUE)の平均値が来遊量の指標になります。今年の平均CPUEは11.1尾であり、前年(14.6尾)および過去5年平均(18.3尾)を下回りました。この結果から、今年の来遊量は前年および過去5年平均を下回っていると判断されます。

■ **分布状況と魚体サイズ** 本州沖合から北海道渡島半島のやや沖合ではCPUEは高く、外套長19cm以上の個体が多く分布していました。本州沿岸ではCPUEは低く、外套長19cm未満の小型個体が主に分布していました。全体では、外套長22cm未満の個体が前年および過去5年平均より少ないことが分かりました。

■ **太平洋側の分布状況** 太平洋側に分布するスルメイカは10月以降、宗谷海峡および津軽海峡を經由して日本海に来遊します。このため、太平洋側のスルメイカの分布状況は10月以降の日本海の漁況に影響します。太平洋スルメイカ長期漁況予報によると、8～9月の分布量は常磐～道南海域では前年並み、道東海域では前年を下回ると予想されています。

■ **漁況の見込み** 以上より、日本海全体では今期の来遊量(漁獲量)は前年および過去5年平均を下回ると予想されます。海域別のイカ釣り漁業の漁況は以下のように予想されます。

道北・道央: 漁期前半の来遊量は前年並みで、過去5年平均を下回る。

道南・津軽: 来遊量は前年を上回り、過去5年平均を下回る。

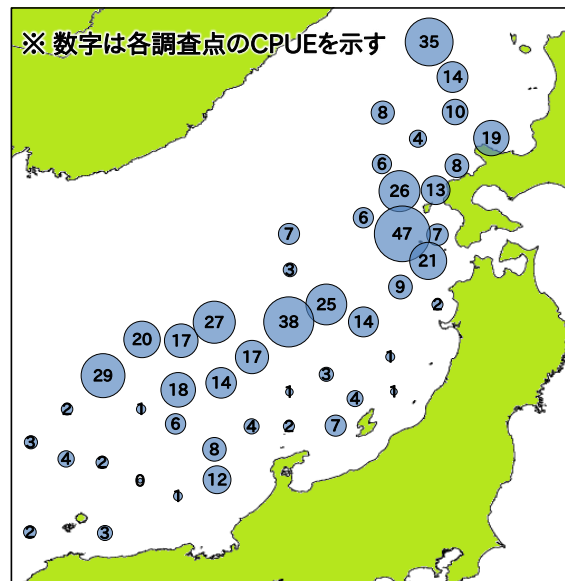
本州北部日本海: 来遊量は前年・過去5年平均を下回る。近年同様、好漁場は形成されにくい。

西部日本海: 来遊量は前年・過去5年平均を下回る。近年同様、好漁場は形成されにくい。

沖合域: 来遊量は前年・過去5年平均を下回る。11月まで道北沖、11月以降は大和堆付近が漁場となる。

本予報の詳細については下記URLの資料をご覧ください。

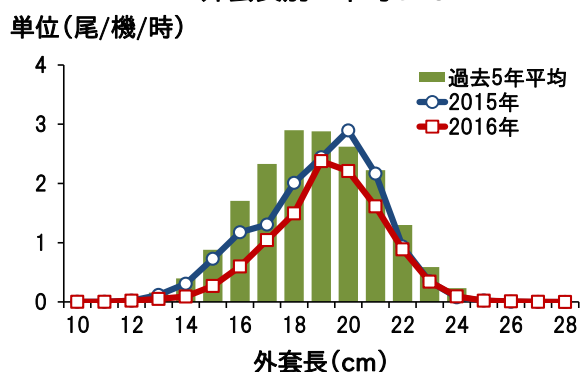
今年の漁場一斉調査時のCPUE分布



平均CPUEの経年変化



外套長別の平均CPUE



集計期間 7月1日～7月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	蛸島	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まあじ	0.4	2.2	6.2	1.5	14.0	30.8	37.6	92.7	140.7
まいわし	0.0					4.6	64.0	68.6	1.1
ふくらぎ	0.8		6.3	0.4	0.2	39.2	4.3	51.2	240.8
とびうお	1.7	0.0	8.0	4.8	4.4	8.6	7.7	35.1	77.9
がんど		0.0	3.7	0.1	0.0	6.4	19.9	30.2	11.9
さわら・さごし	4.4	1.3	10.5	0.0	0.0	5.3	4.6	26.1	310.0
かます	1.4		5.5	0.5	0.1	0.7	1.2	9.3	2.2
まだい	0.3	0.0	2.0	0.3	0.2	3.1	1.0	7.0	5.6
あかいか(ケンキカ)	1.1	0.0	1.7	0.3	0.3	0.3	0.2	3.9	2.8
かわはぎ(ウマヅラ)	0.5	0.1	1.2	0.7	0.2	0.5	0.4	3.6	8.1
その他	3.2	0.2	4.6	0.9	11.9	10.0	56.6	87.3	208.5
合計	13.8	3.9	49.6	9.5	31.1	109.7	197.4	415.0	1009.6
まき網									
まあじ	—		449.4	11.1		—		460.5	1.5
さば	—		130.7	120.2		—		251.0	14.4
うるめいわし	—		143.1			—		143.1	65.7
まいわし	—		60.2			—		60.2	748.1
がんど	—			13.4		—		13.4	0.0
その他	—		8.3	18.0		—		26.4	26.0
合計	—	—	791.8	162.7	—	—	—	954.5	855.8
底びき網・ごち網									
あまえび		17.4					—	17.4	15.2
はたはた		5.2				0.4	—	5.6	2.7
まだい			1.2				—	1.2	0.5
さこだい(チガイ)			0.7				—	0.7	0.1
かわはぎ(ウマヅラ)			0.2				—	0.2	0.1
その他		0.5	0.1		0.1	0.8	—	1.4	0.7
合計	—	23.0	2.2	—	0.1	1.1	—	26.5	19.2
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに			24.4					24.4	40.5
さざえ	1.2		2.4	0.1	9.3	2.4	4.1	19.5	50.5
まだこ	0.0	0.0		5.6	2.1	1.7	3.6	13.1	11.8
がんど			0.3		5.8	0.1	0.0	6.1	7.3
あかがれい						4.7		4.7	5.2
かわはぎ(ウマヅラ)	0.1	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	3.8	6.6
ばいがい	0.1	2.2	0.3	0.1	0.1		0.0	2.7	4.4
ふくらぎ			0.5		1.8	0.1	0.1	2.5	1.8
その他	5.9	2.7	3.0	0.7	10.1	4.6	4.7	31.7	234.4
合計	7.3	4.9	30.9	6.4	32.7	13.6	12.6	108.4	362.5
小型いか釣り									
するめいか20入り		0.1	0.1			0.0		0.2	4.9
するめいか25入り		0.0	0.2			0.2		0.5	8.1
するめいか30入り			0.1			0.2		0.3	6.3
するめいか40入り以上		0.0	0.2			0.3		0.5	3.0
合計	—	0.1	0.6	—	—	0.7	—	1.4	22.2
総計	21.1	32.0	875.1	178.7	63.9	125.1	210.0	1505.8	2269.4

注:富来・輪島は一部未集計